

Ⅱ 施策評価・進捗管理調書

京丹後市教育振興計画
施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
こども未来課	金子 隆行
子育て支援課	蒲田 有希子

重点目標	1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します
基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を図るため、保育所、認定こども園及び小学校の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。

1. 施策の方向性 **PLAN**

1. 就学前教育の環境整備	① 保護者の就労状況等や家庭環境に関わらず、就学前教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進め、待機児童ゼロの継続を目指します。 ② 子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③ 職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・認定こども園の全職員を対象とした研修や担任会、公開保育の実施、職員の交流機会の充実を図ります。 ④ 保育所の民営化に伴い、長時間保育や休日保育の実施などサービスの拡充を行っています。今後も需要の高まりが想定できることから、さらなる民営化を検討していきます。
2. 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化	① 「京丹後市中小一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園(中学校区)の接続プランを充実させて、就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続を図るための取組みを一層進めます。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市保育所再編等推進計画	将来にわたり子どもたちにとってより良い保育を保障するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所等の統廃合及び社会福祉法人への運営委託等を具体的に進めるために策定	平成23年3月	平成23年度～平成27年度	第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定(平成29年度～令和3年度)
京丹後市子ども・子育て支援事業計画	市における子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境づくりを一層進めるため策定	平成27年3月	平成27年度～平成31年度	第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画を策定(令和2年度～令和6年度)

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN** **DO** ※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照 **CHECK** **ACT**

1. 就学前教育の環境整備		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
① 保護者の就労状況等や家庭環境に関わらず、就学前教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進め、待機児童ゼロの継続を目指します。					
② 子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。					
③ 職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・認定こども園の全職員を対象とした研修や担任会、公開保育の実施、職員の交流機会の充実を図ります。					
④ 保育所の民営化に伴い、長時間保育や休日保育の実施などサービスの拡充を行っています。今後も需要の高まりが想定できることから、さらなる民営化を検討していきます。					
1 保育所管理運営事業	こども未来課				
保育所運営が円滑に行えるよう、児童の健康管理や会計年度任用職員を任用するほか、給食調理業務、児童送迎業務等を実施する。		157,131	148,780	176,896	現状維持
2 保育所管理運営事業【繰越】	こども未来課				
園児送迎用バスへの安全装置設置の義務化に伴い、国の補助金を活用し、公立保育所で運行する送迎用バスに安全装置を設置する。		-	333	-	
3 保育業務委託事業	こども未来課				
保護者の就労等で保育を必要とする児童の保育を民間保育所(1園)に委託するとともに、大宮北保育所(公設)の運営を社会福祉法人に委託する。また、市外の保育所及び認定こども園等を利用する広域入所を委託する。		399,884	270,847	287,783	現状維持
4 保育所保育事業等補助金	こども未来課				
国府制度を活用し、民営保育施設が行う障害児保育等の特別保育事業、新型コロナウイルス感染症対策物品等整備、保育環境の向上につながる取組等に対して補助金を交付することにより、円滑な事業及び施設運営を支援する。		44,351	35,841	49,469	現状維持
5 保育所保育事業等補助金【繰越】	こども未来課				
園児送迎用バスへの安全装置設置の義務化に伴い、国の補助金を活用し、私立こども園の安全装置の設置を支援する。		-	137	-	

1. 就学前教育の環境整備			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
1.	6 子育て支援センター事業	子育て支援課	22,982	30,998	31,361	現状維持
	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを取り巻く子育て環境の充実を図る。					
	7 保育支援事業	子育て支援課	4,326	4,709	5,279	現状維持
	保護者の養育が一時的に困難となった児童や病気の回復期にある児童を一時的に保育することで保護者の子育てと就労を支援する。 また、認可外保育施設等を利用し認定を受けた方に対して施設等利用費を給付するほか、低所得世帯等を対象に日用品等の購入費用等の一部を助成する。					
	8 子育て環境整備事業	こども未来課	2,941	3,252	2,000	拡大
	子育て環境の充実を図り、子どもを地域社会全体で育て、支える仕組みづくりを推進することを目的に、市内で行われる子育て支援に関する活動等を支援する。					
	9 認定こども園教育利用管理運営事業	こども未来課	78,418	76,677	108,478	現状維持
	認定こども園(1号認定児)の運営が円滑に行えるよう、児童の健康管理や会計年度任用職員の任用を行う。 また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。					
2.	10 認定こども園保育利用管理運営事業	こども未来課	836,420	965,342	1,134,447	拡大
	認定こども園(2号・3号認定児)の運営が円滑に行えるよう、職員研修・児童の健康管理や会計年度任用職員を任用するほか、給食調理業務、児童送迎業務を実施する。 また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。					
	11 認定こども園保育利用管理運営事業【繰越】	こども未来課	-	1,064	-	拡大
	園児送迎用バスへの安全装置設置の義務化に伴い、国の補助金を活用し、公立こども園で運行する送迎用バスに安全装置を設置する。					
2. 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園(中学校区)の接続プランを充実させて、就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続を図るための取組みを一層進めます。						
12 保幼小中一貫教育推進事業	学校教育課	449	745	6,356	統合(整理)	
	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
↓			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課				
13 保育所施設管理事業	こども未来課	4,886	7,668	58,737	現状維持	
	施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施し、適切な維持管理を行う。					
	14 認定こども園施設管理事業	こども未来課	7,768	13,016	8,055	現状維持
	施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施し、適切な維持管理を行う。					
	15 ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	61	90	38	現状維持
子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、子どもを持つ家庭の子育てを支援することにより仕事と育児の両立、安心して子育てができる環境づくりを進める。						
16 こども未来まちづくり審議会事業	こども未来課	36	37	185	現状維持	
「第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理、評価並びに「第3期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた子育て支援に関する調査、研究を行う。						
計			1,559,653	1,558,472	1,869,084	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を図るため、保育所、認定こども園および小学校の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。							
	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
主な目標指標			年度		年度		年度	
	病後児保育の実施事業所数	か所	0	H25	1	R5	1	R6
	子育て支援センター数	か所	7	H25	8	R5	8	R6
	一時預かり実施事業所数	か所	6	H25	10	R5	10	R6
	保育所・こども園職員の全体研修数	回	3	H25	3	R5	5	R6
	保育所・こども園待機児童数ゼロの継続	人	-	H25	0	R5	0	R6
	民営化保育所設置数	か所	-	H25	4	R5	6	R6
					(公設民営含む)			

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]			CHECK	ACT
進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題		
◎ 予定以上に進んでいる	○	《病後児保育の実施事業所数》 保護者の就労支援のため、子どもが病気の後であっても安心して預けられる環境が整えられている。課題として、支援が必要な方が利用できるよう制度の周知を図る必要がある。		
○ 予定どおり進んでいる		《子育て支援センター数》 市内8か所で開設しており、子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を定めるという調整をせざるを得ない点が課題となっていることから、網野地域子育て支援センター(旧浅茂川保育所)において、市内他地域からの受け入れも行っている。		
▲ 少し遅れている		《一時預かり実施事業所数》 平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができている。		
× 大幅に遅れている		《保育所・こども園職員の全体研修数》 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、感染防止対策を行いながら多くの職員が研修を受けることができた。職員の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題でもあり、担任会や園長・所長研修、園内研修など身近なところで研修の機会を設けて研鑽している状況である。 《保育所・こども園待機児童数ゼロの継続》 保育所、こども園への入所・入園率が高くなっている状況の中、保育従事者が不足している状況ではあるが、体制を整備し、待機児童ゼロを継続することができた。 《民営化保育所設置数》 現在4施設で民営化しており、今後2か所の民営化を検討しているが、保育従事者の不足から受託法人がない状態であることから、状況を見極めながら推進していきたい。		

5. 今後の施策展開の考え方(令和6年度までの主な取組)			ACT
区分	No.	具 体 的 内 容	
施策展開の考え方	1	保育所の利用において、0～2歳の低年齢児の利用は継続的なニーズがあることから、このニーズに応える保育所の運営を続けるとともに、令和2年3月に策定した第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画と整合性を図りつつ、今後も子育て支援の施策の充実を図る。併せて、令和7年度からの第3期京丹後市子ども・子育て支援事業計画を策定する。	
	2	「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園で保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るための取組の充実を図る。	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部	
	項	02 児童福祉費				98.2 %			
	目	04 保育事業費				(参考)当初予算額			
	事業	02 保育所管理運営事業				175,553千円	課	こども未来課	
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進						
目的	保育所運営が円滑に行えるよう、児童の健康管理や会計年度任用職員を任用するほか、給食調理業務、児童送迎業務等を実施する。			主な財源	負担金	保育認定児保育料、日本赤十字振興センター保護者負担金			12,350千円
					国補	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（1/2）			56千円
					国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）			23千円
					府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金（1/3）、物価高騰保育所等臨時支援事業費交付金			1,174千円
					繰入金	ふるさと応援基金繰入金			65,000千円
				諸収入	広域入所児童受託保育料、延長保育料、延長保育間食負担金 等			3,095千円	
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費			2,115千円	○その他経費				729千円
	医師報酬、費用弁償（嘱託医師）、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料 等				・日本スポーツ振興センター負担金				134千円
	○会計年度任用職員任用経費			77,759千円	・保育協会負担金、京都府栄養士会負担金 等				164千円
	（保育士・保育教諭 等37人、作業員2人 計39人分）報酬、期末手当、社会保険料、通勤手当 等				・コピー機借上料、ごみ持込処理手数料 等				431千円
	○職員研修実施経費			108千円	（参考）市内の保育所（R6.3.31時点）				
	報酬費（研修講師謝金）、旅費				・公立（公設公営）：島津・たちばな・宇川・久美浜保育所				
	○給食調理業務委託			29,344千円	・公立（公設民営）：大宮北保育所				
	調理業務委託料（島津・たちばな・宇川・久美浜保育所）				・私立：ゆうかり乳児保育所				
	○保育所送迎車両関連経費（4台）			8,067千円	計6施設				
	業務委託経費、修理費、自動車重量税 等								
○入所児童の保育に要する経費			16,526千円						
保育材料費、賄材料費 等									
○保育所の運営に関する経費			12,307千円						
燃料費、光熱水費、通信運搬費、修繕料、ピアノ調律 等									
○新型コロナウイルス感染症対策経費			49千円	成果・課題	○児童・職員の健康管理や職員確保、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより、円滑な保育所の運営を行うことができた。 ○乳児利用等の受入に柔軟に対応するため、引き続き職員体制の確保が必要である。				
手指消毒液、ペーパータオル 等									
○保育業務支援システム等運用経費			1,776千円						
保育業務支援システム使用料、情報通信機器等保守委託料									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部								
	項	02 児童福祉費				38.0 %										
	目	04 保育事業費				(参考)繰越予算額	課	こども未来課								
	事業	02 保育所管理運営事業（繰越）				875千円										
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進													
目的	園児送迎用バスへの安全装置設置の義務化に伴い、国の補助金を活用し、公立保育所で運行する送迎用バスに安全装置を設置する。			主な財源	国補 保育対策総合支援事業費補助金（10/10） 333千円											
主要な事務・事業の概要	○園児送迎用バスへの安全装置設置経費 333千円 ・備品購入費（置き去り防止ブザー等装置一式）5台分（令和5年7月完了） [送迎バス運行施設及び台数] <table border="1"><tr><td>島津保育所</td><td>1台</td></tr><tr><td>宇川保育所</td><td>1台</td></tr><tr><td>大宮北保育所</td><td>3台</td></tr><tr><td>計</td><td>5台</td></tr></table>			島津保育所	1台	宇川保育所	1台	大宮北保育所	3台	計	5台	成果・課題	園児送迎用バスの全車両に安全装置を設置したことにより、利用園児の置き去り防止対策を実施することができた。			
				島津保育所	1台											
				宇川保育所	1台											
				大宮北保育所	3台											
				計	5台											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	こども部
	項	02 児童福祉費	270,847千円		270,988千円		141千円		99.9 %		課	こども未来課
	目	04 保育事業費							(参考)当初予算額			
	事業	03 保育業務委託事業							319,712千円			
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進									
目的		保護者の就労等で保育を必要とする児童の保育を民間保育所（１園）に委託するとともに、大宮北保育所（公設）の運営を社会福祉法人に委託する。 また、市外の保育所及び認定こども園等を利用する広域入所を委託する。	主な財源	負担金	保育認定児保育料							24,446千円
				国・県・市町村	子どものための教育・保育給付交付金（１／２）、子ども・子育て支援交付金（１／３）							26,657千円
				府・市町村	子どものための教育・保育給付交付金（１／４）、子ども・子育て支援交付金（１／３）							9,346千円
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金							80,000千円
				諸収入	広域入所児童受託保育料、一時預かり事業利用料、延長保育料							350千円
主要な事務・事業の概要	○乳児等保育委託料			52,051千円								
	・ ゆうかり乳児保育所（運営：社会福祉法人みねやま福祉会） 2か月児～2歳児の保育業務 令和6年3月末入所児童数：23人（定員：30人）											
	○公立保育所運営委託料			215,062千円								
	・ 大宮北保育所（運営：社会福祉法人みねやま福祉会） 6か月児～5歳児の保育業務 令和6年3月末入所児童数：202人（定員：230人）											
	○広域入所委託料			3,734千円								
里帰り出産等で京丹後市以外の施設を利用した児童数：3人 〔委託先〕												
・ こうのとり認定こども園（私立・豊岡市1人）			2,143千円									
		・ みのりこども園（私立・福知山市2人）	1,591千円		成果・課題	○保育業務を民間事業者に委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者のニーズに対応した保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援することができた。 ○保育業務を他の自治体や市外の民間事業者に委託し広域入所を実施することで、保護者の里帰り出産等のニーズに対応した。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	こども部			
	項	02 児童福祉費	35,841千円		36,507千円		666千円		98.1 %						
	目	04 保育事業費							(参考)当初予算額		課	こども未来課			
	事業	04 保育所保育事業等補助金							44,730千円						
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進												
目的		国府制度を活用し、民営保育施設が行う障害児保育等の特別保育事業、新型コロナウイルス感染症対策物品等整備、保育環境の向上につながる取組等に対して補助金を交付することにより、円滑な事業及び施設運営を支援する。	主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）						3,315千円				
				国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）						182千円				
				国補	就学前教育・保育所等整備交付金（5.5/10）						397千円				
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）						2,041千円				
				府補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）						4,109千円				
主要な事務・事業の概要				○私立保育所保育事業補助金		28,868千円		○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策事業補助金						2,426千円	
				・ ゆうかり乳児保育所		1,803千円		・ 大宮北保育所（消毒液等）						80千円	
				延長保育・障害児保育事業				・ ゆうかり子ども園（消毒液等）						111千円	
				・ あみの夢こども園		6,899千円		・ あみの夢こども園（除菌シート・非接触型自動水栓改修等）						1,071千円	
				延長保育・一時預かり・障害児保育事業				・ こうりゅう虹こども園（消毒液・非接触型自動水栓改修等）						1,164千円	
				・ ゆうかり子ども園		12,835千円		○私立保育所等保育対策総合支援事業補助金						3,951千円	
				延長保育・一時預かり・障害児保育事業				・ ゆうかり子ども園（保育支援者配置・エアコン設置）						693千円	
				・ こうりゅう虹こども園		7,331千円		・ あみの夢こども園						2,229千円	
				延長保育・一時預かり・障害児保育事業		5,063千円		（保育支援者配置・クッションフロア更新及び改修）							
				通所バス運行事業（189千円×12月）		2,268千円		・ こうりゅう虹こども園（軒樋改修等）						1,029千円	
				○私立保育所施設整備事業補助金		596千円									
				ゆうかり子ども園（園舎玄関扉の自動ドア化）											
				成果・課題				成果・課題	○延長保育、一時預かり及び障害児保育等を推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。						
									○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための支援を行った。						
									○保育士の業務負担軽減及び保育環境の向上につながる取組に対し、支援を行った。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費	137千円	350千円	213千円	39.1 %		
	目	04 保育事業費				(参考)繰越予算額	課	こども未来課
	事業	04 保育所保育事業等補助金（繰越）				350千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補 保育対策総合支援事業費補助金（10/10）137千円				
目的	園児送迎用バスへの安全装置設置の義務化に伴い、国の補助金を活用し、私立こども園の安全装置の設置を支援する。							
主要な事務・事業の概要	○園児送迎用バス安全装置設置補助金（2台分） ・こうりゅう虹こども園（運営：社会福祉法人不動園） （令和5年7月完了）			137千円				
				成果・課題	私立こども園の園児送迎用バスの全車両へ安全装置設置の費用を支援することにより、園児の置き去り防止対策を実施することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部																															
	項	02 児童福祉費	30,998千円		31,308千円	310千円	99.0 %																																	
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	子育て支援課																															
	事業	03 子育て支援センター事業					35,556千円																																	
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	国補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 7,668千円 府補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 7,997千円 市債 子育て支援センター施設整備事業債（合併特例債） 4,300千円																																			
目的	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを取り巻く子育て環境の充実を図る。																																							
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（指導員：15人）		21,896千円		【支援センター】利用延べ人数			【なかよし広場（全12回）】																																
	○研修旅費、消耗品費、燃料費、電気代、各種委託料等		2,038千円		<table><tr><th>支援センター</th><th>児童</th><th>保護者</th></tr><tr><td>峰山</td><td>1,301人</td><td>1,214人</td></tr><tr><td>大宮北</td><td>1,418人</td><td>1,210人</td></tr><tr><td>大宮南</td><td>777人</td><td>735人</td></tr><tr><td>網野</td><td>2,564人</td><td>2,347人</td></tr><tr><td>丹後</td><td>617人</td><td>640人</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>720人</td><td>718人</td></tr><tr><td>かぶと山</td><td>983人</td><td>983人</td></tr><tr><td>こうりゅう</td><td>497人</td><td>481人</td></tr><tr><td>合計</td><td>8,877人</td><td>8,328人</td></tr></table>			支援センター	児童	保護者	峰山	1,301人	1,214人	大宮北	1,418人	1,210人	大宮南	777人	735人	網野	2,564人	2,347人	丹後	617人	640人	弥栄	720人	718人	かぶと山	983人	983人	こうりゅう	497人	481人	合計	8,877人	8,328人	実施月：R5.4月～R6.3月（月1回） 場所：峰山総合福祉センター 児童：250人 保護者：238人		
	支援センター	児童	保護者																																					
	峰山	1,301人	1,214人																																					
	大宮北	1,418人	1,210人																																					
	大宮南	777人	735人																																					
	網野	2,564人	2,347人																																					
	丹後	617人	640人																																					
	弥栄	720人	718人																																					
	かぶと山	983人	983人																																					
こうりゅう	497人	481人																																						
合計	8,877人	8,328人																																						
○かぶと山地域子育て支援センター畳表替		112千円		【子育て交流会】																																				
○網野地域子育て支援センター浄化槽解体及び下水道工事		4,562千円		場所：網野地域子育て支援センター																																				
・工事監理業務委託料		575千円		<table><tr><th>開催日</th><th>児童</th><th>保護者</th></tr><tr><td>10月23日</td><td>28人</td><td>26人</td></tr><tr><td>10月30日</td><td>27人</td><td>26人</td></tr><tr><td>合計</td><td>55人</td><td>52人</td></tr></table>			開催日	児童	保護者	10月23日	28人	26人	10月30日	27人	26人	合計	55人	52人																						
開催日	児童	保護者																																						
10月23日	28人	26人																																						
10月30日	27人	26人																																						
合計	55人	52人																																						
・工事請負費		3,649千円																																						
・汚泥採取業務委託料		338千円																																						
○こうりゅう地域子育て支援センター運営委託料（こうりゅう虹こども園）		2,390千円																																						
				成果・課題	○子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。 ○各支援センターでの開放日の見直しや休日開所など、より利用しやすい環境整備を図ることが課題である。																																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部	
	項	02 児童福祉費					97.9 %			
	目	02 子育て支援費	4,709千円		4,809千円	100千円	(参考)当初予算額	課	子育て支援課	
	事業	04 保育支援事業					5,697千円			
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）					1,158千円	
	国補		子育てのための施設等利用給付交付金（1/2）					611千円		
	府補		子ども・子育て支援交付金（1/3）					1,113千円		
	府補		子育てのための施設等利用給付交付金（1/4）					305千円		
目的	保護者の養育が一時的に困難となった児童や病気の回復期にある児童を一時的に保育することで保護者の子育てと就労を支援する。 また、認可外保育施設等を利用し認定を受けた方に対して施設等利用費を給付するほか、低所得世帯等を対象に日用品等の購入費用等の一部を助成する。									
主要な事務・事業の概要	【所管課：子育て支援課】		397千円		【所管課：こども未来課】					1,332千円
	○子育て短期支援事業委託料				○認可外保育施設等給付費					
	委託施設：峰山乳児院・てらす峰夢（社会福祉法人みなやま福祉会）				認可外保育施設（こどもの森保育園 与謝野町）					
					・支給児童数 3人（3世帯）※4歳児2人（2号）、3歳児1人（2号）					
					・支給期間 令和5年4月～令和6年3月（12か月）					
					・支給額 1,332千円（37千円×12か月×3人）					
	【世帯区分による利用状況】		市負担日額							
	・2歳未満児 生活保護・ひとり親非課税世帯 14日（10,700円）									
	非課税・ひとり親課税世帯 20日（9,600円）									
	その他の世帯 0日（5,350円）									
・2歳以上児 生活保護・ひとり親非課税世帯 6日（5,500円）										
非課税・ひとり親課税世帯 0日（4,500円）										
その他の世帯 8日（2,750円）										
○病後児保育事業委託料		2,962千円								
委託施設：ゆうかり子ども園（社会福祉法人みなやま福祉会）										
・基本分（事業の実施分） 2,962千円										
・加算分（低所得者減免分加算） 0千円										
（利用状況） 利用日数6日（実人数4人）										
成果・課題					○養育を必要とする児童を一時的に保育することで、保護者の育児負担の軽減などにつなげることができた。 ○病気の回復期にある児童の子育てと保護者の就労の両立を支援することができた。 ○認可外保育施設等利用費を給付し、対象家庭の経済的負担を軽減した。 ○低所得世帯の教材費、行事への参加に要する費用等の一部を助成することで、対象家庭の経済的負担を軽減した。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費				95.3 %		
	目	02 子育て支援費				(参考)当初予算額	課	こども未来課
	事業	05 子育て環境整備事業						
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進					
目的			子育て環境の充実を図り、子どもを地域社会全体で育て、支える仕組みづくりを推進することを目的に、市内で行われる子育て支援に関する活動等を支援する。					
			主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（子育て環境整備事業） 1,500千円				
主要な事務・事業の概要	○子育て環境整備応援プロジェクト補助金 3,083千円			○備品購入 169千円				
	【子育て団体支援事業】 2団体 1,332千円			市民局等窓口計7か所にベビーベッドを設置				
	・補助対象者 市内で子育て支援事業に取り組む非営利団体			設置場所：市民課、大宮市民局、網野市民局、丹後市民局、				
	・補助対象経費 子育て支援に関する継続的な活動に係る経費			弥栄市民局、久美浜市民局、健康推進課				
・補助金額 補助率：2/3以内、上限1,000千円/団体								
【子育て活動支援事業】 9団体 745千円								
・補助対象者 市内で子育て支援に取り組むもの								
・補助対象経費 子育て支援に関するイベント開催（単発的なもの）に係る経費								
・補助金額 補助率：10/10、上限100千円/団体								
【子育て環境支援施設整備事業】 6事業所等 1,006千円								
・補助対象者 子育て世帯が利用することが想定される市内の事業所又は市内に店舗を有するもの			成果・課題	○子育て支援に取り組む団体・個人を支援することにより、地域の子育て支援者や子育て世帯が集い、情報交換や交流の場を提供することができた。				
・補助対象経費 店舗等における授乳用設備、おむつ交換台、キッズスペース等設置に係る経費				○市内事業所のおむつ替え施設等の整備を支援し、市内の子育て環境の充実を図ることができた。				
・補助金額 補助率：10/10、上限200千円/事業所等				○子育て環境の充実に向け、団体・事業所等への支援が引き続き必要である。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費	76,677千円		76,924千円	247千円	99.6 %		
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額		
	事業	06 認定こども園教育利用管理運営事業						94,057千円	課
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	負担金 教育認定児保育料 1,049千円				
目的	認定こども園（1号認定児）の運営が円滑に行えるよう、児童の健康管理や会計年度任用職員の任用を行う。 また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。				国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2） 14,261千円			
					府負	子どものための教育・保育給付交付金（1/4） 12,038千円			
					諸収入	教育認定児預かり保育料 906千円			
主要な事務・事業の概要	○児童の健康管理に要する経費			826千円	○認定こども園施設給付費 37,488千円				
	・報酬（医師：11人、薬剤師：6人）			772千円	・ゆうかり子ども園 17,109千円				
	・入園児童の検診（耳鼻科、眼科、尿）			15千円	3歳以上児の幼児教育業務（1号認定）				
	・消耗品（舌圧子）			39千円	定員12人 令和6年3月末入園児童数 4人				
	○会計年度任用職員任用経費			38,248千円	・こうりゅう虹こども園 20,379千円				
	（保育士・保育教諭 計12人分）				3歳以上児の幼児教育業務（1号認定）				
	報酬、期末手当、社会保険料、通勤手当 等				定員9人 令和6年3月末入園児童数 8人				
○こども園運営に要する経費			99千円	（参考）京丹後市内の認定こども園（R6.3.31現在）					
備品購入費（図書）				・公立：峰山こども園、大宮こども園、網野こども園、 丹後こども園、弥栄こども園、かぶと山こども園					
○日本スポーツ振興センター負担金			16千円	・私立：ゆうかり子ども園、あみの夢こども園、こうりゅう虹こども園					
					成果・課題	児童・職員の健康管理や、職員確保などを適切に行い、円滑なこども園の運営を行うことができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費	965,342千円		972,099千円	6,757千円	99.3 %		
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額	課	こども未来課
	事業	07 認定こども園保育利用管理運営事業					992,823千円		
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	負担金 保育認定児保育料 70,824千円				
目的	認定こども園（2号・3号認定児）の運営が円滑に行えるよう、職員研修・児童の健康管理や会計年度任用職員を任用するほか、給食調理業務、児童送迎業務を実施する。 また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。				国負・国補 子どものための教育・保育給付交付金（1/2）、保育対策総合支援事業費補助金（1/2） 等 173,069千円				
					府負・府補 子どものための教育・保育給付交付金（1/4）、第3子以降保育料無償化事業費補助金 等 86,862千円				
					繰入金 ふるさと応援基金繰入金 62,000千円				
				諸収入 広域入所児童受託保育料、一時預かり事業利用料、延長保育料 等 13,912千円					
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費 4,533千円		○保育業務支援システム運用経費 2,792千円						
	医師報酬、費用弁償（嘱託医師）、児童検診委託料、大腸胃等検査手数料 等		保育業務支援システム使用料、情報通信機器等保守委託料						
	○会計年度任用職員任用経費 443,150千円 （保育士・保育教諭 等181人、調理員等17人 計198人分）		○その他必要経費 1,400千円						
	○職員研修実施経費 336千円		コピー機借上料、自動車借上料 等						
	職員旅費、有料道路通行料		○認定こども園施設型給付費 328,756千円						
	○給食調理業務委託料 29,467千円		6か月児～5歳児保育業務（2号及び3号認定）						
	調理業務委託料（大宮こども園、かぶと山こども園）		・ゆうかり子ども園 128,447千円						
	○こども園送迎車両関連経費(16台) 23,324千円		令和6年3月末入園児童数：146人						
	業務委託経費、修理費、自動車重量税 等		・あみの夢こども園 106,576千円						
	○入園児童の保育に関する経費 79,197千円		令和6年3月末入園児童数：86人						
	保育材料費、膳材料費、おむつ処分費（ごみ袋代）等		・こうりゅう虹こども園 93,733千円						
	○こども園の運営に関する経費 51,755千円		令和6年3月末入園児童数：105人						
燃料費、光熱水費、通信運搬費、修繕料、ピアノ調律、備品購入費 等									
○新型コロナウイルス感染症対策経費 190千円		成果・課題	○児童・職員の健康管理や職員確保、給食、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより、円滑なこども園の運営を行うことができた。 ○乳児利用等の受け入れに柔軟に対応するため、引き続き職員体制の確保が必要である。						
手指消毒液、ペーパータオル 等									
○日本スポーツ振興センター負担金、園長会等負担金 442千円									
日本スポーツ振興センター負担金 234千円									
全国公立幼稚園・こども園長会負担金 等 208千円									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費	1,064千円	2,800千円	1,736千円	38.0 %	課	こども未来課
	目	04 保育事業費				(参考)繰越予算額		
	事業	07 認定こども園保育利用管理運営事業（繰越）				2,800千円		
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進					
目的			園児送迎用バスへの安全装置設置の義務化に伴い、国の補助金を活用し、公立こども園で運行する送迎用バスに安全装置を設置する。					
主要な事務・事業の概要			主な財源	国補 保育対策総合支援事業費補助金（10/10） 1,064千円				
				○園児送迎用バスへの安全装置設置経費 1,064千円				
				・ 備品購入費（置き去り防止ブザー等装置一式）16台分（令和5年7月完了）				
				[送迎バス運行施設及び台数]				
				</				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	745千円	746千円	1千円	99.8 %		課
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事業	14 保幼小中一貫教育推進事業				874千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源				
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。							
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） 102千円 ・委員 14人（学識経験者、PTA役員、学校教職員等） ・開催回数 2回（12月・3月） ・調査研究内容 保幼小中一貫教育実施校における効果と課題の整理 ○学校教育連携専門部会 4千円 ・委員 9人 アドバイザー3人 ・開催回数 2回（10月・1月） ○OGIGAスクールICT教育実践研修会 442千円 ・開催回数 5回（6月・9月・11月・12月・1月） ・場所 第1回 大宮第一小、第2回 峰山中、第3回 しんざん小 第4回 峰山小、 第5回 オンライン ・研修内容 講師：株式会社EdLog 代表取締役社長 中川 哲 氏 6月 GIGAスクールによる教育の変容 9月 授業及び評価におけるICT活用について 11月 GIGAスクールによる学校・授業スタイルの変容 12月 今後の方向性及び授業観・指導観の質的転換について 1月 GIGAスクール構想による教育活動及び授業の変容について ○小中一貫教育全国連絡協議負担金 30千円			○学力向上対策会議研修会（講師謝金） 47千円 開催日： 令和5年10月6日（金） ・場所 大宮南小 対 象： 市内小中学校教員、教育関係者 参加者：約100人 講 師： 樋口 万太郎 氏（香里ヌヴェール学院小学校 教諭兼研究員） 内 容： 実践に定評のある講師から、実際の授業を通して指導方法を学ぶ ○教育フォーラムの開催（講師謝金、消耗品費） 120千円 開催日： 令和6年1月21日（日） ・場所 アグリセンター 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者ほか 参加者：102人 講 師： ヤング吉原 麻里子 氏（一般社団法人SKY Labo 共同代表） 内 容： 本市の人材育成について、講師との対談を通して考える				
	成果・課題	○保幼小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。 ○児童生徒の学力向上のための指導方法を学ぶ機会として研修会を開催することができた。また、教育フォーラムを開催し、本市の保幼小中一貫教育の取組について広く市民への周知を行うことができた。 ○OGIGAスクール構想による学校・授業スタイルの変容について講演、実践形式で学び、授業に活かすことができた。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費	7,668千円	7,697千円	29千円	99.6 %		
	目	04 保育事業費				(参考)当初予算額	課	こども未来課
	事業	05 保育所施設管理事業				7,875千円		
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進					
目的	施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施し、適切な維持管理を行う。		主な財源	負担金 保育認定児保育料 633千円				
				府補 第3子以降保育料無償化事業費補助金 41千円				
				市債 児童福祉施設整備事業債（合併特例債） 2,500千円				
主要な事務・事業の概要	○報償費 3千円		○使用料及び賃借料 109千円					
	土地使用謝金（たちばな保育所園庭入口）		・土地借上料（たちばな保育所駐車場用地 約1,000㎡） 10千円					
			・清掃用具借上料 99千円					
	○需用費 2,067千円							
	各保育所（島津・たちばな・宇川・久美浜・大宮北保育所分）							
	・消耗品費 58千円							
	・施設修繕費 2,009千円							
	○役務費 662千円							
	・手数料（貯水槽法定検査手数料、浄化槽法定検査手数料） 33千円							
	・火災保険料（旧施設を含む） 629千円							
○委託料 4,827千円		成果・課題 ○施設の修繕や管理を実施し、適切に施設の維持を行うことができた。 ○施設や設備の老朽化に対応するため、計画的に改修等を行っていく必要がある。						
・施設警備、グリストラップ収集・処分、浄化槽維持管理等 2,106千円								
・工事設計（島津・たちばな保育所遊戯室エアコン取付工事） 2,721千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部	
	項	02 児童福祉費	13,016千円		13,053千円	37千円	99.7 %		課	こども未来課
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額			
	事業	08 認定こども園施設管理事業					12,105千円			
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進							
目的	施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施し、適切な維持管理を行う。				主な財源	負担金	保育認定児保育料			933千円
						負担金	教育認定児保育料			178千円
						府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金			84千円
						市債	児童福祉施設整備事業債（過疎債）			3,400千円
主要な事務・事業の概要	○需用費				4,337千円	○工事請負費				3,498千円
	各こども園（6施設分）					バルクガス貯槽更新工事（大宮こども園）				
	・消耗品費				196千円					
	・修繕費				4,141千円					
	○役務費				1,144千円					
	・手数料（貯水槽法定検査手数料、浄化槽法定検査手数料等）				64千円					
	・火災保険料（6施設分）				1,080千円					
	○委託料				3,818千円					
	施設警備、グリストラップ収集・処分、自動ドア保守点検									
	○使用料及び賃借料				219千円					
清掃用具借上料										
					成果・課題	○施設の修繕や管理を実施し、適切に施設の維持を行うことができた。 ○施設や設備の老朽化に対応するため、計画的に改修等を行っていく必要がある。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費	90千円		103千円	13千円	87.3 %		
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	子育て支援課
	事業	01 ファミリー・サポートセンター事業					103千円		
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	子ども・子育て支援交付金（1/3）30千円			
						子ども・子育て支援交付金（1/3）30千円			
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、子どもを持つ家庭の子育てを支援することにより仕事と育児の両立、安心して子育てができる環境づくりを進める。								
主要な事務・事業の概要	○ファミリー・サポートセンター補償保険料		61千円						
	○印刷製本費（援助活動報告書）		29千円						
	会員数								
		令和6年3月末	令和5年3月末						
	おねがい会員		28人	35人					
	まかせて会員		14人	18人					
	両方会員		1人	1人					
	活動延べ件数								
			令和5年度	令和4年度					
	活動延べ件数		61件	57件					
				成果・課題	○援助を必要とする会員へ必要な援助を提供できるよう、調整を行い、子育てしやすい環境づくりに寄与した。 ○より一層利用を促進するためには、制度の周知、援助会員の確保、運営の工夫が課題である。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	02 児童福祉費	37千円	138千円	101千円	26.8 %		
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額	課	こども未来課
	事業	03 子ども未来まちづくり審議会事業				138千円		
基本計画			主な財源					
25 子育て支援の総合的な推進								
目的	「第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理、評価並びに「第3期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた子育て支援に関する調査、研究を行う。							
主要な事務・事業の概要	令和元年度に策定した「第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の事業進捗状況、第3期計画策定に係るニーズ調査について審議するため、子ども未来まちづくり審議会を開催した。 ○委員報酬 委員数：10人 1回開催：出席者8人							

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
教育総務課	西村 隆
学校教育課	上羽 正行

重点目標	2 確かな学力・生き抜く力を育みます
基本的方針	保幼小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化や情報化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。 少子化の進行による学校の小規模化が予想されるなか、令和3年度に策定した学校適正配置基本計画に基づき、今後の学校の適正配置を進めます。

1. 施策の方向性

PLAN

1. 保幼小中一貫教育の推進	① 学校教育改革構想に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む保幼小中一貫教育を推進します。 ② 学園(中学校区)を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を一層進めます。 ③ 保幼小中一貫教育等について保護者や地域の理解を深めるとともに連携を強化するため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供・共有の機会を拡充します。 ④ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。 ⑤ 保幼小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校・学園評価の充実に努め、地域とともにある学校・学園づくりを推進します。
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	① 子どもの発達や学習の特性等に応じた系統的で一貫性のある教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校卒業までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。 ② 学習指導要領に求められる教職員の資質・能力を育成するため、授業実践力や本市の児童生徒の現状を踏まえた生徒指導力を高める研修を充実します。 ③ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。 ④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇りを高めるとともに、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。 ⑤ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。 ⑥ 学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。 ⑦ 地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」を推進します。 ⑧ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制づくりを進めます。
3. 確かな学力の育成	① 保幼小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間を見通した学習指導を充実します。 ② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を概ね上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。 ③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。 ④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。 ⑤ 主体的に学びに向かう力や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。 ⑥ 家庭学習が定着するよう、学校園と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。 ⑦ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校と高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。
4. 社会を生き抜く力の育成	① 子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方・働き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。 ② 「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。 ③ 児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲と学習効果を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成するため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。 ④ 小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。 ⑤ 国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、多文化共生社会の視点に立ち、諸外国の文化や伝統を理解し興味・関心を深める国際理解教育を推進します。 ⑥ 環境の保全や主体的に環境に働きかける実践の態度・能力を育成するため、身近な環境に関心を持ち人間と環境との関わりについて理解を求める環境教育を推進します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 保幼小中一貫教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
① 学校教育改革構想に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む保幼小中一貫教育を推進します。 ② 学園(中学校区)を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を一層進めます。 ③ 保幼小中一貫教育等について保護者や地域の理解を深めるとともに連携を強化するため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供・共有の機会を拡充します。 ④ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。 ⑤ 保幼小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校・学園評価の充実に努め、地域とともにある学校・学園づくりを推進します。					
1	保幼小中一貫教育推進事業《再掲》 学校教育課	-	-	-	統合(整理)
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。					
2	保幼小中一貫教育実践事業 学校教育課	5,046	5,085	-	統合(整理)
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育を実践し、学力の向上及び生徒指導上の課題解決を目指すとともに、将来に夢と希望をもって生き生きと学ぶことのできる子どもを育成するほか、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実に図る。					
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
① 子どもの発達や学習の特性等に応じた系統的で一貫性のある教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校卒業までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。 ② 学習指導要領に求められる教職員の資質・能力を育成するため、授業実践力や本市の児童生徒の現状を踏まえた生徒指導力を高める研修を充実します。 ③ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。 ④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇りを高めるとともに、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。 ⑤ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。 ⑥ 学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。 ⑦ 地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」を推進します。 ⑧ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。					
3	学習支援体制整備事業 学校教育課	729	579	659	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、生徒と保護者のニーズを踏まえ、放課後を活用した子どもたちの学びを支援する教育活動を実施する。					
4	地域学校協働本部事業 生涯学習課	3,643	3,677	6,256	拡大
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実に図るため、学校と地域をつなぐ地域コーディネーターを配置する。					
3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
① 保幼小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間を見通した学習指導を充実します。 ② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を概ね上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。 ③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実に位置付け、系統的・継続的な指導を行います。 ④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。 ⑤ 主体的に学びに向かう力や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。 ⑥ 家庭学習が定着するよう、学校園と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。 ⑦ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校と高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。					

3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
5	学務経費	学校教育課	4,763	4,776	4,874	現状維持
学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。						
6	小学校丹後学等教育活動実践事業	学校教育課	1,635	1,741	1,434	現状維持
地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。						
7	中学校丹後学等教育活動実践事業	学校教育課	1,241	1,386	1,161	現状維持
府の研究指定を受け、教員の指導力向上等に取り組むとともに、地域学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の経費を支援する。						
8	小学校教育振興事業	学校教育課	17,722	52,802	29,028	現状維持
児童の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど児童の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れ、教育内容の充実を図る。						
9	小学校教育振興備品整備事業	学校教育課	10,508	9,398	8,020	現状維持
児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の充実を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。						
10	小学校就学援助事業	学校教育課	19,691	19,243	24,145	拡大
経済的理由によって就学困難な児童の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級児童等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な児童が公共交通等を利用した際の通学費(交通費)及び送迎時の燃料代を支給する。						
11	中学校教育振興事業	学校教育課	25,955	24,127	35,168	現状維持
生徒の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど生徒の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れるとともに、体育大会への参加や部活動等を支援し、教育内容の充実を図る。						
12	中学校教育振興備品整備事業	学校教育課	10,874	7,336	6,619	現状維持
生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の拡充を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。						
13	中学校就学援助事業	学校教育課	18,894	20,001	23,452	拡大
経済的理由によって就学困難な生徒の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級児童等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な児童が公共交通等を利用した際の通学費(交通費)及び送迎時の燃料代を支給する。						
4. 社会を生き抜く力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
① 子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方・働き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。						
② 「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通した探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。						
③ 児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲と学習効果を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成するため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。						
④ 小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。						
⑤ 国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、多文化共生社会の視点に立ち、諸外国の文化や伝統を理解し興味・関心を深める国際理解教育を推進します。						
⑥ 環境の保全や主体的に環境に働きかける実践的態度・能力を育成するため、身近な環境に関心を持ち人間と環境との関わりについて理解を求める環境教育を推進します。						
14	学校情報化推進事業	学校教育課	56,940	50,027	43,091	現状維持
GIGAスクール構想に基づいて整備したICT環境を活用し、児童生徒にとってわかりやすく魅力のある授業を進め、児童生徒の情報利活用能力を育成するほか、児童生徒・教職員1人1台タブレット端末等の電子機器の導入、校内LAN及び学校情報通信ネットワークを維持管理するとともに、教育のICT化及び校務の効率化を図る。						
15	グローバル人材育成事業	学校教育課	7,296	17,365	22,429	拡大
国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を中心に、諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。						
16	外国語指導助手招致事業	教育総務課	25,458	25,486	24,214	縮小
中学校の英語授業補助、小学校の外国語授業及び外国語活動推進のため、一般財団法人自治体国際化協会のJETプログラムを活用して、外国語指導助手(ALT)を招致・任用する。						
17	国際交流員招致事業	学校教育課	4,020	4,322	4,649	現状維持
グローバル化に対応するため、一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用し、国際交流員(CIR)を任用する。						

4. 社会を生き抜く力の育成			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
	18 奨学金事業	教育総務課	27,499	38,964	64,415	拡大
	大学等の高等教育への進学を希望する者で、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金の給付及び貸付を行う。 また、大学等を卒業後に就業する者で、本市に定住し、奨学金の返還を行う者に対する定住促進奨学金支援を行い、将来を担う若者のふるさと回帰と地域の活性化を図る。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
	19 奨学基金	教育総務課	721	827	12	現状維持
	経済的理由により大学等での修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的に、奨学基金へ積み立てるもの。					
	20 谷口謙・未来応援基金	教育総務課	2,845	3,183	1,841	現状維持
	経済的理由により大学等での修学が困難なものに対し、奨学金を貸し付けることを目的に、谷口謙・未来応援基金へ積み立てるもの。					
			計	245,480	290,325	301,467

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	保幼小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化や情報化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。 少子化の進行による学校の小規模化が予想されるなか、令和3年度に策定した学校適正配置基本計画に基づき、今後の学校の適正配置を進めます。								
	主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
					年度		年度		年度
		学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0	H25	6学園	R5	6（全中学校区で実施）	R6
学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合＜小学生＞		%	73.2 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙(小6)	H25	62.8	R5	80%以上	R6	
学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の生徒の割合＜中学生＞		%	50.6 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3)	H25	63.3	R5	70%以上	R6	
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	小中学校各教科の全国平均正答率	－	中学校英語のみ全国平均以上	R5	市平均の全教科全国平均以上	R6	
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合＜中学生＞	%	70.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3)	H25	67.6	R5	90%以上	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	《学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)》 学園ごとに設置した学校運営協議会の中で、各学園の評価アンケートを示し、学園の取組等に対する評価と検証の場が位置付いている。また、そうしたことを受けて、学校運営協議会の活動報告書を作成することで、成果や次年度に向けた課題及び目標を整理することができ、改善サイクルが確立できている。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		
		《学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合》 令和4年度の評価を「学校の家庭学習時間は年々減少傾向にあり、授業と家庭学習を連動させた指導の改善が求められる。」としたものの、令和5年度において中学校は増加したが、小学校はさらに減少している。 令和6年度には、家庭学習の在り方について、市学力向上対策会議の重点課題として取り組み、各校・各学園での取組を一層充実させ、「自ら学習を調整する力」の育成につながるタブレットの持ち帰り学習と授業の連動を推進する。

進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題
		《一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着》 令和5年度の結果を見ると、令和4年度に唯一全国平均以上であった中学校国語も全国平均を下回る結果となった。 令和6年度は、求められる資質・能力が向上される授業とは、どのような姿なのか、今一度振り返る必要がある。その上で、各校・各学園で一層推進していく必要がある。「探究的な学び」やICTを活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」について、研究協力教員を募り、先進的な実践者による日常的な助言と講義をセットで実施することで、授業改善の具体を学ぶ機会を設ける。 また、その成果を市内に波及させる。その一環として中部大学の樋口万太郎准教授に講義を聞くことで、小中学校の教諭が学び、自分の実践に生かすことで指導力の向上を図る。 《将来の夢や目標を持っている生徒の割合》 年々の減少は下げ止まったが依然として目標値には達していない。夢や目標を「職業」のみに焦点を当てるのではなく、自分の生き方を考える活動を学校教育の中で推進していく必要がある。その際、「丹後学」や児童生徒が学びを記録し蓄積する教材として「キャリアパスポート」等を活用し、児童生徒が自分の成長を振り返りながら、夢や希望、将来への展望を育む活動を推進・充実を図る必要がある。

5. 今後の施策展開の考え方(令和6年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具 体 的 内 容
施策展開の考え方	1	平成28年度からの小中一貫教育の全市展開では、実質的に保育所・幼保連携型認定こども園の就学前1年を含めた10年間の一貫教育を行っていることから、令和3年1月に名称を「保幼小中一貫教育」に改めた。学園単位によるPDCAサイクルの実施とその検証・評価に基づく保幼小中一貫教育推進基本計画等の適切な改訂を行う。また、市教育フォーラム等の啓発活動により、教職員・保護者・地域住民への成果の明確化を図る。
	2	学園コーディネーター等の配置を継続するとともに、各学園に設置された学校・地域連携協議会の学園運営協議会(コミュニティ・スクール)への移行が令和2年度に完了したことから、学校、家庭、地域が連携した学習環境の体制作り、目指す子ども像に基づく学校・地域が連携した取組を一層推進する。
	3	京丹後市保幼小中一貫教育モデルカリキュラム丹後学【令和5・6年度活用版】等を活用した各学園での系統的で一貫性のある指導を充実させるため、授業改善・授業研究を更に推進するとともに、全国学力・学習状況調査の学園分析結果を活用し個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
	4	総合的な学習の時間を活用した「丹後学モデルカリキュラム」の自校園化に向けた取組と興味・関心・意欲を高めるICT機器の整備推進を図るとともに、中学生の海外派遣やSTEAM教育の推進・英語運用能力の向上に取り組むとともに、児童生徒の国際交流等を推進することにより、問題解決能力や多様な他者と協働する力、英語運用能力を高め、本市で目指すグローバル人材の育成を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,085千円		5,827千円	742千円	87.2 %	課	学校教育課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	15 保幼小中一貫教育実践事業					5,827千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育を実践し、学力の向上及び生徒指導上の課題解決を目指すとともに、将来に夢と希望をもって生き生きと学ぶことのできる子どもを育成するほか、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○小中連携・小小連携・保幼小連携の取組（各中学校区単位） （報償費、消耗品費、印刷製本費等）		3,452千円	○京丹後市保幼小中一貫教育研修会（講師謝金、通信運搬費） 63千円 開催日： 令和5年8月2日（水） 参加者： 89人 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者 講 師： 石川 英明 氏（株式会社コーデュケーション 代表取締役） 場 所： アグリセンター大宮					
	・峰山学園：SNS研修会、授業体験等 ・大宮学園：SNS研修会、授業体験等 ・網野学園：授業研修会、ゲーム・ネット講座等 ・丹後学園：部活動体験、授業実践力向上講演会等 ・弥栄学園：情報モラル学習会、授業体験等 ・久美浜学園：SNS講演会、講演会等		630千円 599千円 705千円 398千円 522千円 598千円						
	○特色ある学校づくりの取組（報償費、消耗品費、委託料等） 実施校：全校 主な取組：郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習、 ばら寿司作り、福祉体験講座、性教育、SDGsに関する取組等		1,570千円						
				成果・課題	○保幼小中一貫教育の実施によりを設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○特色ある学校づくりとして、地域に関する学習を支援することにより「丹後学」の充実を図ることができた。 ○今後もより効果的な連携を進めていくため、教育研修会の内容を充実させていく必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	01 教育総務費	579千円	660千円	81千円	87.7 %																						
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課																				
	事業	11 学習支援体制整備事業				860千円																						
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実																									
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、生徒と保護者の二一スを踏まえ、放課後を活用した子どもたちの学びを支援する教育活動を実施する。		主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3） 382千円																								
主要な事務・事業の概要	○中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 579千円 放課後を活用した学習を希望する生徒を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。																											
	<table><tr><th>学校名</th><th>回数</th><th>参加者数（延べ）</th></tr><tr><td>峰山中学校</td><td>17回</td><td>325人</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>16回</td><td>393人</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>23回</td><td>631人</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>25回</td><td>743人</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>39回</td><td>492人</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>38回</td><td>1,163人</td></tr></table>		学校名	回数	参加者数（延べ）	峰山中学校	17回	325人	大宮中学校	16回	393人	網野中学校	23回	631人	丹後中学校	25回	743人	弥栄中学校	39回	492人	久美浜中学校	38回	1,163人					
	学校名	回数	参加者数（延べ）																									
	峰山中学校	17回	325人																									
大宮中学校	16回	393人																										
網野中学校	23回	631人																										
丹後中学校	25回	743人																										
弥栄中学校	39回	492人																										
久美浜中学校	38回	1,163人																										
※時期・回数・時間等計画内容は、学校によって異なる。																												
		成果・課題	中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習を行うことができた。																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	3,677千円		3,844千円	167千円	95.6 %	課	生涯学習課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	10 地域学校協働本部事業					4,259千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3） 1,563千円					
目的			「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図るため、学校と地域をつなぐ地域コーディネーターを配置する。						
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。								
	○地域コーディネーター配置（各中学校1人：計6人）		3,231千円						
	・地域コーディネーター謝金		2,899千円						
	・地域コーディネーター費用弁償		332千円						
○広報紙の発行（年2回：ボランティア募集、活動報告）		298千円							
・印刷製本費									
○その他経費（旅費、消耗品等）		148千円							
<活動概要>									
・実施期間		令和5年4月1日～令和6年3月31日							
・実施場所		市内全小学校（17校）、中学校（6校） 市立認定こども園（6園）							
・ボランティア登録者数		645人（令和5年度新規登録者数40人）							
※ボランティアの登録状況（令和6年3月末現在）									
町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計	
人数	149人	90人	176人	75人	74人	69人	12人	645人	
【ボランティア活動の内容等】									
・学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等）									
・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等）									
		区 域	活動日数		活動人数（延べ）				
		峰山学園	575日		2,632人				
		大宮学園	106日		120人				
		網野学園	605日		3,186人				
		丹後学園	123日		241人				
		弥栄学園	325日		463人				
		久美浜学園	447日		3,230人				
		合 計	2,181日		9,872人				
成果・課題		○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがいがいつくりになっている。 ○学校活動の多様なニーズを把握するとともに、それに対応するボランティアを確保し、ニーズや特徴を充足する日数や内容の活動を行うことが必要である。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	4,776千円		4,867千円	91千円	98.1 %		課	学校教育課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額			
	事業	05 学務経費					4,972千円			
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。		主な財源							
主要な事務・事業の概要	○就学時健康診断（受診人数：342人） （医師謝金、費用弁償、新型コロナ対策用消耗品費等）		696千円		○（独）日本スポーツ振興センター共済掛金 （小学生2,351人、中学生1,209人）					3,315千円
	○学務経費 ・健康管理票作成等（消耗品費、印刷製本費） ・学齢簿関連システム保守委託料 ・人権教育研究会活動に係る資料代（消耗品費） ・各中学校区での特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） ・峰山学園（開催日：10月23日（月）、参加者数：39人） ・大宮学園（開催日：11月 7日（火）、参加者数：18人） ・網野学園（開催日：10月25日（水）、参加者数：52人） ・丹後学園（開催日：11月 8日（水）、参加者数：22人） ・弥栄学園（開催日：12月 5日（火）、参加者数：12人） ・久美浜学園（開催日：10月27日（金）、参加者数：40人） ・事務用品（ファイル等）		467千円 23千円 264千円 23千円 47千円 110千円		○その他負担金 京都府学校保健会、京都府学校保健主事会、 京都府特別支援教育研究協議会、教育研究事業、 教科用図書選定協議会の各負担金					298千円
					成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	1,741千円	1,994千円	253千円	87.3 %	課	学校教育課	
	目	02 小学校教育振興費				(参考)当初予算額			
	事業	05 小学校丹後学等教育活動実践事業				1,994千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的	地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業（講師謝金等） ・丹後学、総合的な学習活動推進事業（全小学校で実施） ・峰山地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、校外学習 等 ・大宮地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、校外学習 等 ・網野地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・丹後地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、伝承料理体験、校外学習 等 ・弥栄地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験 等 ・久美浜地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等		1,226千円	○教育研究事業負担金 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施 ○修学旅行引率補助金 17校、引率教員63人					146千円 369千円
				成果・課題	○地元地域の特産品や、稲作づくりを体験することで、地域への理解と愛着を深めることができた。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費				87.8 %		
	目	02 中学校教育振興費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実						
目的	府の研究指定を受け、教員の指導力向上等に取り組むとともに、地域学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の経費を支援する。		主な財源	府補 子どもの教育のための総合交付金（10/10） 400千円				
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業 512千円 ・着付け体験学習（クリーニング代金、講師謝金 等） 203千円 参加者：453人 ・丹後学、総合的な学習活動 309千円 市単独事業、全中学校で実施（講話学習、職場体験 等） ○教育実践研究指定事業（消耗品費、バス運転委託料） 400千円 ・未来を拓く学校づくり推進事業 200千円 実施校：網野学園 ※府補助事業（補助率10/10） 実施年度：令和4年度～6年度（3か年） ・未来の担い手育成プログラム研究校 200千円 実施校：丹後中学校 ※府補助事業（補助率10/10） 実施年度：令和4年度～6年度（3か年）			○教育研究事業負担金 83千円 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。 ○修学旅行引率補助金 391千円 6校、引率教員51人				
				成果・課題	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、丹後学の推進につながった。 ○府の研究指定を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	52,802千円		56,992千円	4,190千円	92.6 %			
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	01 小学校教育振興事業								
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的	児童の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど児童の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れ、教育内容の充実を図る。									
主要な事務・事業の概要	○入学写真、卒業写真、卒業記念品 （入学児童390人分、卒業児童385人分）		1,290千円	○校外学習活動 消耗品、バス運転委託料、自動車借上料、 有料道路通行料、駐車場使用料、 燃料費、講師費用弁償						5,670千円
	○学力検査（全校・各学年）		1,458千円							
	○学習教材、教材消耗品等 ・学習教材消耗品 ・学習教材冊子「わたしたちの きょうたんご」 （3年生用 440冊） ・キャリアパスポート（ファイル購入）400冊 ・令和6年度小学校教師用教科書・指導書 ・著作物使用料 教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、児童のタブレットに送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費		44,381千円 9,359千円 280千円 62千円 34,528千円 152千円	○第9回山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会参加費 開催日：令和5年10月28日（土） 開催場所：全但バス但馬ドーム周辺駅伝コース（豊岡市日高町） 出場校：しんざん小学校 1校（1チーム6人出場）						3千円
				成果・課題	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	9,398千円		10,239千円	841千円	91.7 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業					9,220千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	理科教育設備整備費等補助金（1/2）592千円				
					寄附金	ふるさと応援寄附金200千円			
目的			児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の充実を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。						
主要な事務・事業の概要	○教材備品及び図書購入 7,610千円 ・教材備品整備4,282千円 ・学校図書整備3,328千円 （うち、ふるさと応援寄附金充当（丹後・宇川小学校）計200千円） ○理科等振興備品購入1,331千円 ・理科、算数備品整備 ○教材備品修繕費（糸のこ、ミシンほか）235千円 ○学校図書館図書管理システム使用料168千円 ○教材用家電リサイクル料11千円 （網野北、弥栄小学校：洗濯機リサイクル） ○教材備品処分費43千円 （かぶと山小学校：オルガン処分）								
				成果・課題	学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	02 小学校費	19,243千円		19,708千円	465千円	97.6 %				
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額				
	事業	03 小学校就学援助事業						24,006千円	課	学校教育課	
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	就学援助費補助金（1/2）88千円						
目的	経済的理由によって就学困難な児童の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級児童等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な児童が公共交通等を利用した際の通学費（交通費）及び送迎時の燃料代を支給する。				特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）1,021千円						
主要な事務・事業の概要	○就学援助費			17,121千円		○特別支援教育就学奨励費				2,094千円	
	・要保護認定者 16人（R4：11人）			177千円		・認定者 78人（R4：61人）					
	修学旅行費 91千円					学用品費等 874千円					
	医療費 86千円					給食費 1,008千円					
	・準要保護認定者 230人（R4：240人）			15,592千円		修学旅行費 183千円					
	学用品費等 4,010千円					通学費（交通費） 29千円 ※対象者数 7人					
	給食費 8,706千円										
	修学旅行費 1,198千円										
	医療費 53千円										
	オンライン学習通信費 1,625千円										
※申請者数 283人（R4：282人） 認定者数 246人（R4：251人）											
・令和6年度新入学児童学用品費入学前支給分			1,352千円								
支給者数 25人 ※令和6年2月16日支給											
○就学援助世帯貸出用Wi-Fiルーター貸出			28千円								
・貸出者数 5人											
成果・課題											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	24,127千円		24,623千円	496千円	97.9 %	課	学校教育課
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額		
	事業	01 中学校教育振興事業					25,101千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源					
目的	生徒の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど生徒の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れるとともに、体育大会への参加や部活動等を支援し、教育内容の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	〇入学写真、卒業記念品 （入学生徒363人分、卒業生徒439人分）		1,308千円	〇校外学習、部活動 14,053千円 ・バス運転委託料 10,589千円 ・楽器運搬手数料（ティンパニ、チューバほか）86千円 （第60回京都府吹奏楽コンクール） 出 場 日：令和5年8月2日（水） 会 場：京都コンサートホール 大ホール 出 場 校：峰山中学校、大宮中学校 ・体育大会等選手派遣費補助金 3,378千円					
	〇学習指導等 ・学力検査（全校・各学年） 〇学習教材、教材消耗品等 ・学習教材消耗品 5,692千円 ・学習教材冊子「京丹後市地域学習副読本」1,350冊 742千円 ・著作物使用料 117千円 教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、生徒のタブレットに送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費		2,215千円 6,551千円	成果・課題	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	50,027千円		50,284千円	257千円	99.4 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	18 学校情報化推進事業					49,739千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補 公立学校情報機器整備費補助金（1/2） 660千円					
				府補 子どもの教育のための総合交付金（1/2） 165千円					
				諸収入 リーディングDXスクール事業委託金（10/10） 275千円					
目的	GIGAスクール構想に基づいて整備したICT環境を活用し、児童生徒にとってわかりやすく魅力のある授業を進め、児童生徒の情報利活用能力を育成するほか、児童生徒・教職員1人1台タブレット端末等の電子機器の導入、校内LAN及び学校情報通信ネットワークを維持管理するとともに、教育のICT化及び校務の効率化を図る。								
主要な事業・事業の概要	○需用費 2,227千円		○リーディングDXスクール事業 229千円						
	・ パソコン・校内LAN関連消耗品、修繕費 2,227千円		・ 講師謝金 2人、3回 161千円						
	○通信運搬費 1,129千円		・ 講師旅費 68千円						
	・ Wi-Fiルータ通信費 82千円		＜参考＞パソコン等台数（令和6年3月末時点）						
	・ 光回線通信費 1,047千円		表						
	○手数料（電子黒板等移設手数料） 175千円		表						
	○委託料 18,379千円		表						
	・ サーバシステム・パソコン・校内LAN等保守委託料 3,818千円		表						
	・ サーバ機器更新設定委託料 2,761千円		表						
	・ 校務支援システム保守委託料 792千円		表						
・ ICT支援員業務委託料（5人） 10,513千円		表							
・ Googleアカウント発行管理システム導入委託料 495千円		表							
○使用料及び賃借料 27,888千円		成果・課題							
・ パソコン借上料（校務用パソコン、サーバ） 18,694千円		○主体的で協働的な学びの実現に向けた学びの実現に向け、リーディングDX事業を実施し、Googleアカウント導入準備を進めた。							
・ ソフトウェア使用料 9,169千円		○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン（校務、普通教室、タブレット）、電子黒板及びサーバ機器、並びにGIGAスクール情報機器等整備事業にて導入したタブレット、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。							
校務支援システム、ウイルス対策ソフト、採点支援システムほか		○引き続き、ICT支援員を適切に配置しながら、児童・生徒・教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用し、授業改善につなげていく必要がある。							
・ クラウドサービス利用料（Googleアカウント発行） 25千円									
レンタルサーバ使用、ドメイン取得									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	17,365千円	17,373千円	8千円	99.9 %		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	19 グローバル人材育成事業				16,566千円		
基本計画			府補 子どもの教育のための総合交付金 4,634千円					
			主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 12,636千円				
目的				諸収入 国際交流事業等参加料 95千円				
主要な事業・事業の概要	OKyotango English Day【対象：小3・4年】 1千円			○中学生の海外派遣【対象：中2年】 5,872千円				
	CIR・ALTによる異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和5年10月21日（土） 参加者数：11人 （消耗品費、通信運搬費）			学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、中学生を海外へ派遣した。				
	OKyotango English Camp【対象：小5・6年】 232千円			派遣先：ニュージーランド ニュースプリマス 参加者数：15人（選考）				
	CIR・ALTによる1泊2日の異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和5年10月21日（土）・22日（日） 参加者数：19人 （通信運搬費、施設使用料ほか）			派遣期間：令和6年3月16日（土）～24日（日） 8泊9日間 （コーディネーター謝金、旅費、中学生海外派遣事業費補助金ほか）				
	OKyotango Sea Labo【対象：中3年・高2年】 5,214千円			京丹後の良さを学び、STEAM人材として本市の未来を切りひらくイノベーターを育成する探索型ワークショップを英語で開催				
	フィリピンとのオンライン交流を実施 ※全体研修7回（高校生は5回）、各家庭でのオンライン交流複数回 事業期間：令和5年10月3日（火）～12月5日（火） 参加者数：中学生20人/高校生10人 （通信運搬費）			ワークショップ等開催期間：令和5年8月8日（火）～12日（土）・9月2日（土） 参加者数：33人（中学3年生：17人、高校2年生：16人） （委託料、講師謝金、費用弁償、施設使用料ほか）				
	○英語力向上アプリ導入【対象：市内全中1～3年】 6,041千円 一人一台配付しているタブレットにアプリを導入し、学校及び家庭学習において発音とスピーキング能力を中心とした英語力の向上に取り組んだ。 （ライセンス使用料、通信運搬費ほか）			成果・課題 ○国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。 ○ICTの活用やオンラインによる交流を充実させることにより、生徒の学ぶ意欲の向上を促進するとともに、国際的視野を広げることができた。 ○STEAM教育の推進により、丹後愛を育み、創造性への自信向上等を図ることができた。 ○国際的視野をもった児童生徒を育成するため、さらなる内容の充実を図る必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	25,486千円		25,750千円	264千円	98.9 %		
	目	03 外国語活動推進費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	01 外国語指導助手招致事業					29,002千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	中学校の英語授業補助、小学校の外国語授業及び外国語活動推進のため、一般財団法人自治体国際化協会のJETプログラムを活用して、外国語指導助手（ALT）を招致・任用する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（外国語指導助手）任用経費（6人）		22,981千円		○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費		455千円		
	・報酬 任用初年度： 月額280千円		19,560千円		・住居の更新料、住宅保険等		345千円		
	任用2年目： 月額300千円				・備品修繕料等		110千円		
	任用3年目： 月額325千円				○負担金		1,024千円		
	任用4、5年目： 月額330千円				・来日後オリエンテーション参加費用負担金（1人分）		77千円		
・社会保険料、労災保険料、雇用保険料、共済組合負担金		3,184千円		・自治体国際化協会負担金		690千円			
・費用弁償		237千円		・来日渡航費用負担金（1人分）		257千円			
○外国語指導助手支援員任用経費（1人）		52千円							
出入国時及び生活支援等に係る通訳									
○会計年度任用職員（育休代替）任用経費（2人）		967千円							
・報酬、費用弁償		830千円							
・社会保険料		137千円							
○外国語指導助手等の旅費		7千円		成果・課題		○日本人の外国語教諭のサポート並びにEnglishCampなどの事業において一役を担っている。また、国際理解教育の促進などALTの果たす役割が期待されており、今後もALTの継続的な確保が必要である。 ○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身の負担軽減などの生活支援の充実が必要である。			
・研修旅費等（ALT、職員）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局								
	項	01 教育総務費	4,322千円	4,370千円	48千円	98.9 %										
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課								
	事業	20 国際交流員招致事業				4,494千円										
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実													
目的	グローバル化に対応するため、一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用し、国際交流員（CIR）を任用する。		主な財源	諸収入 京都市町村職員等共同研修助成金 11千円												
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性と見識や経験を大いに活かした指導、助言を行った。															
	○会計年度任用職員任用経費（国際交流員（CIR）1人）			4,166千円												
	・報酬			3,594千円												
	・共済費（社会保険料、雇用保険料等）			572千円												
	○旅費（費用弁償） 国際交流員研修等			26千円												
	○各種負担金			130千円												
	・研修参加負担金			10千円												
	・自治体国際化協会負担金			120千円												
	<table><tr><td></td><td>金額</td></tr><tr><td>人員割負担金</td><td>92千円</td></tr><tr><td>損害保険料</td><td>28千円</td></tr><tr><td>計</td><td>120千円</td></tr></table>				金額	人員割負担金	92千円	損害保険料	28千円	計	120千円					
		金額														
人員割負担金	92千円															
損害保険料	28千円															
計	120千円															
			成果・課題	○国際交流員を配置し、その専門性や経験を活かし国際理解教育やSTEAM教育の推進を図ることができた。 ○継続的な任用のため、国際交流員の心身の負担を軽減できるよう生活面におけるサポートの充実が必要である。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局								
	項	01 教育総務費	38,964千円		39,049千円	85千円	99.7 %		課	教育総務課							
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額										
	事業	01 奨学金事業					55,986千円										
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金 奨学基金繰入金 768千円												
目的			繰入金 ふるさと応援基金繰入金 25,000千円														
			繰入金 谷口謙・未来応援基金繰入金 7,008千円														
大学等の高等教育への進学を希望する者で、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金の給付及び貸付を行う。 また、大学等を卒業後に就業する者で、本市に定住し、奨学金の返還を行う者に対する定住促進奨学金支援を行い、将来を担う若者のふるさと回帰と地域の活性化を図る。																	
主要な事務・事業の概要	○奨学金選考・検討委員会に係る経費			51千円	○定住促進奨学金返還支援制度 31,137千円												
	・報酬（委員5人×4千円×2回）			40千円	・広報チラシ印刷製本費（12,000枚） 43千円												
	・費用弁償			11千円	・大学等へのチラシ送料（536校） 51千円												
					・補助金（169人）、手数料 31,043千円												
	○奨学金給付金			768千円	<参考>認定者数												
	・市民税非課税世帯 月額12千円×12月×2人（前・後期）			288千円	<table><tr><td></td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td>認定者数</td><td>136人</td><td>61人</td><td>46人</td></tr></table>						R3年度	R4年度	R5年度	認定者数	136人	61人	46人
		R3年度	R4年度	R5年度													
	認定者数	136人	61人	46人													
	・市民税所得割非課税世帯 月額10千円×12月×4人（前・後期）			480千円													
	○奨学金貸付金			7,008千円													
・修学支援金（8人）			3,508千円														
大学生等 1,000千円×2人 300千円×1人 280千円×1人 232千円×4人																	
・入学支度金（5人）			3,500千円	成果・課題													
大学等入学予定者 700千円×5人				○勉強意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。 ○令和3年度に創設した定住促進奨学金返還補助事業について、大学等への周知やチラシの配布等を行い、本事業を通じた定住促進に努めた。													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																			
	項	01 教育総務費	827千円	827千円	0千円	100.0 %		課	教育総務課																		
	目	04 奨学費				(参考)当初予算額																					
	事業	02 奨学基金				12千円																					
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	財産収入 奨学基金利子収入 42千円																						
目的			経済的理由により大学等での修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的に、奨学基金へ積み立てるもの。		諸収入 奨学資金貸付償還金滞納繰越分 785千円																						
主要な事務・事業の概要	○奨学基金積立金 827千円 ・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分 785千円 ・利子分 42千円 (単位：千円) <table><tr><td>令和4年度末現在高</td><td colspan="3">令和5年度中増減額</td><td>令和5年度末現在高</td></tr><tr><td>繰入金</td><td>運用利子</td><td>積立金</td><td>①-②+③+④</td></tr><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td></td></tr><tr><td>136,318</td><td>768</td><td>42</td><td>785</td><td>136,377</td></tr></table> (充当：1事業) ・奨学金事業 768千円			令和4年度末現在高	令和5年度中増減額			令和5年度末現在高	繰入金	運用利子	積立金	①-②+③+④	①	②	③	④		136,318	768	42	785	136,377					
				令和4年度末現在高	令和5年度中増減額			令和5年度末現在高																			
				繰入金	運用利子	積立金	①-②+③+④																				
				①	②	③	④																				
	136,318	768	42	785	136,377																						
				成果・課題																							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局											
	項	01 教育総務費	3,183千円		3,183千円	0千円	100.0 %													
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課											
	事業	03 谷口謙・未来応援基金					2,580千円													
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	財産収入 谷口謙・未来応援基金利子収入 27千円															
					諸収入 奨学資金貸付償還金 3,156千円															
目的	経済的理由により大学等での修学が困難なものに対し、奨学金を貸し付けることを目的に、谷口謙・未来応援基金へ積み立てるもの。																			
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金 3,183千円																			
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分 3,156千円																			
	・利子分 27千円																			
	(単位：千円)																			
	<table><tr><td rowspan="2">令和4年度末 現在高 ①</td><td colspan="3">令和5年度中増減額</td><td rowspan="2">令和5年度末 現在高 ①-②+③+④</td></tr><tr><td>繰入金 ②</td><td>運用利子 ③</td><td>積立金 ④</td></tr><tr><td>68,782</td><td>7,008</td><td>27</td><td>3,156</td><td>64,957</td></tr></table>			令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高 ①-②+③+④	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	68,782	7,008	27	3,156	64,957				
令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額				令和5年度末 現在高 ①-②+③+④															
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④																	
68,782	7,008	27	3,156	64,957																
(充当：1事業)																				
・奨学金事業 7,008千円																				